

## 既修得単位の認定（地域経営学部）について

既修得単位は、公立大学法人福知山公立大学編入学規程に基づいて、本学の「科目名称・内容の共通性が認められるもの」についてのみ、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位認定します。本学の規程は包括的に一括して単位認定するものではありません。この際、3年次編入については既修得単位 62 単位が、2年次編入については既修得単位 30 単位が認定の上限になります。

しかしながら、編入学選抜要項の目次ページの「編入学選抜を受験するにあたっての留意事項」に記載のとおり、認定される既修得単位が少ないとき、編入学後の修業年数が、3年次編入の場合には2年を、2年次編入の場合には3年を超えることがあります。

今年度の3年次編入学生（経済経営系の短期大学卒業生）については、既修得単位の認定は概して40単位程度でした。本学で1年間に履修登録可能な単位数の上限は、2年次で44単位、3年次で46単位、4年次は46単位であるため、何人かの編入学生は、本学部における卒業要件128単位修得に向けて、学修を充実させるとともに、余裕をもった就職活動を行うために、3年間の履修を計画しています。経済経営系以外の大学・短期大学、専門学校の出身のみなさんは、本学の「科目名称・内容の共通性」という点において、既修得単位の認定がより難しい場合があります。そのことを踏まえて、入学の手続きおよび本学における学修に取り組んでいただけますようお願いいたします。